

田尻ボランティア友の会の組織



目的

ボランティア相互の連絡調整を図り、ニーズの発見に努め、各ボランティアが組織的及び効果的活動を行い、地域福祉の向上に寄与することを目的とする(会則より)

構成

- ・ 会長 1名…会務を統括する
- ・ 庶務会計 1名…庶務と会計
- ・ 副会長 2名…会長の補佐と代理
- ・ 監事 3名…事業や予算の監査
- ・ 理事 9名…事業の企画立案
- ・ 会員総勢 151名

会費

年額500円

例

田尻ボランティア友の会

年行っている主な活動



『会報きずな』の発行

田尻ボランティア友の会は、会員に向けた「会報きずな」を“毎月”発行しています。

紙面の内容は、会員さんからのボランティア活動の報告や趣味ことなど幅広く、会員以外の方に寄稿を依頼することもあります。

創刊された日は、分からなくなってしまったようですが、令和2年度10月現在までで、発行ナンバーは305号となっており、単純計算だと25年以上続いていることとなります。

最新号の令和2年10月号です。現在はカラーになりました。



社協で保管するもので、最も古い平成19年4月号。当時、「ロマン館」で開催していた総会の案内などが載せられています。



加護坊山クリーン運動

例年、7月上旬に、社協と共催にて実施している「加護坊山クリーン運動」は、田尻地域のシンボル「加護坊山」の沿道のゴミを拾いながら、山頂まで歩くという事業です。

また、山頂に到着後は、参加者みんなでお昼を食べたり、レクリエーションをしたりします。

本事業は、「ゴミ拾い」というボランティア活動をとおした参加者同士の「交流」を目的としています。

過去には、雨天により中止となった時もありますが、令和元年度で22回目をむかえた事業です。





ボランティアふれあいまつり



←
会員が提供した日用品などをバザーに出しています。

→
空きカン釣りコーナーの様子。子供たちに人気です。



「ボランティアふれあいまつり」は、例年、文化の日に開催される大崎市たじり文化祭に併せ、会場の一角にて、行っています。本事業も社協との共催事業です。

活動内容は、文化祭の来場者の皆さんが楽しめる「福祉バザー（フリーマーケット）」と「ゲームコーナー」の催し物です。

ここでは、ふれあいの活動を通して、ボランティア活動について興味関心を持ってもらうことを目的としています。



調理ボランティア

田尻ボランティア友の会は、社協事業の「ふれあい食事会」（ひとり暮らしの高齢者の方を対象にした集い）などで、調理のお手伝いをしています。

その他、地域内行事でも調理ボランティアとして活動をしています。



ボランティア研修会



↓
美味しいコーヒーの淹れかた講座

↑
もしバナゲーム（人生最後の過ごし方を考え共有するカードゲーム）

「ボランティア研修会」は、田尻ボランティア友の会の主催事業で、地域内のボランティア活動推進のため、活動に役立つ知識や技術の習得を目的に実施しています。

本研修会は、会員だけでなく、一般の方の参加も募集しており、興味のある方は誰でも参加できます。そのため、ボランティア活動に関する理解や会員の加入促進にもつなげる機会となっています。

例年、2月頃開催しています。

田尻ボランティア友の会は、この他にも様々な活動を行っています。

しかし、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、特に集団・多人数で、不特定の人と接する可能性のある活動を自粛しています。